

HIO YOG

教区新報



98 RENNHO-SHONIN
BIG FESTA 500

1996. 6. 102号

発行所 浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸 (078) 341-5949(代)
(編集) 教区基推委広報部

「宗教と医療」

赤穂御崎で組長ら95人参加

去る五月二十七日から二十八日にかけて、毎年一回開催している組長・副組長・組相役員合同研修会を今年度は西播ブロック担当で、赤穂御崎の銀波荘において、九十五人の参加を得て開催された。

て①宗費、門徒講金、願記冥加金、教区費等の震災被災による減免について(先月号教区新報記載の通り許可)②教区賦課金告知について③救援復興協力金兵庫教区収納状況四千七百八十九万八千五百円達成率81%(5月10日現在)④義援金収支状況報告。



桜井師の講演を聞く参加者

(2)本願寺神戸別院・兵庫教区教化センター総合計画収支状況報告。

「宗教と医療」の今日的課題をテーマに講演があり、参加者は脳死や臓器移植といった問題について熱心に聞き入っていた。

また、入浴・休憩のあと懇親会となつて、九十人が参加しカラオケにも力が入って懇親を深めた。

教区だより

6・7月

17日(月)	ビハラ兵庫総会	10時半			
	ビハラ兵庫研修会	1時			
18日(火)	仏婦ブロック別研修会(岡山)	岡山南組西願寺			
	青年僧侶の会総会	4時			
19日(水)	仏婦ブロック別研修会(但馬)	出石組勝林寺			
19日(水)~20日(木)	第3ブロック少年連盟研修会	岐阜			
22日(土)~23日(日)	第42回仏青連盟中央研修会	本山			
25日(火)	赤穂南組蓮如上人500回遠忌法要ご消息披露	宝専寺			
26日(水)	仏婦ブロック別研修会(阪神)	阪神西組西福寺			
	連研のための研究会	10時半			
27日(木)	仏婦ブロック別研修会(丹波)	丹南町公民館			
27日(木)~28日(金)	本派社推協中央研修協議会		本山		
30日(日)	仏壮ブロック別研修会(東播)				
7月3日(水)	篤面近畿大会				舞子ピラ
4日(木)	布教団総会・研修会				10時半
6日(土)	第一土曜仏教講座		林 智康師		1時半
7日(日)	第9期連修了者大会				本願寺会館
8日(月)	中央推進常任委員会				本山
9日(火)~10日(水)	第1回中央推進委員会総会				本山
10日(水)~11日(木)	第3ブロック布教使研修会				東海
14日(日)	別院永代経開闢法要				1時半
15日(月)~16日(火)	別院常例法座		太田唯念師		1時半

サマースクールに子どもたちを

教区少年連盟(藤井章兼委員長)では来る七月三十日から八月一日に第三十三回少年連盟サマースクールを佐用組法覚寺を会場に二泊三日で開催します。今年「佐用きらきらサマースクール」と題して、

どちらを向いても仏のふところ

掲示伝道40年の記録

鍋島俊樹師



著者は神戸中組真覚寺に生まれ、神戸工業専門学校(現神戸大学工学部)を経て龍谷大学大学院文学研究科(真宗学)博士課程を修了し、昭和六十年相愛高等学校中学校長を退くまで二十四年間学校教育に携わる。また、昭和五十四年に住職を継承しておられ、別に真覚書道会を主宰、兵庫県書作家協会無鑑査会員でも

敬吊

華廣恵俊師(はなひろ・えしゅん)神戸東組法覚寺(住職)五月九日、七十七才で往生。葬儀は五月十三日、神戸湊組浄光寺で。「法實院釋惠俊」。昭和二十五年から住職在職四十六年。その間、昭和五十二年から同五十六年まで副組長。また昭和六十一年から平成二年まで組長を務めた。

大内憲英師(おうち・けんえい)網干組浄念寺住職)五月十三日、七十才で往生。葬儀は五月十五日、浄念寺で。「法徳院釋憲英」。昭和六十一年から住職在職十一年。その間、昭和五十二年から平成二年まで副組長。また平成六年から教区会議員現職。

宗勢基本調査に協力を

このたび、第七回宗勢基本調査実施センターより「調査表」が各寺院に送付されております。全寺院対象調査については二十年ぶりのことであり、宗勢の実態を把握するために必要な調査であります。何卒ご協力の程をお願い申し上げます。



日校に通ってくる子供達。榎の大木の上でVサイン。扉に登り忍者気分。「危ないぞ!」私の声。一切子供達の耳には届かない。天真爛漫作家灰谷健次郎氏は「大人の恣意にはめていこう」という意識が、今の時代ほど強く感じられることはないような気がする。大人の枠に押し込まれる子供の生命力は希薄になっていく」と語られる。

◆本来遊びが生活であり、目的であり、いのちの輝きそのものであるのに、(どの程度教育的か)などの評価の中で(教育的遊び)という枠の中に、子供達を押し込め、大切な時間を奪いとりうとしていっているのではないかと。子供達はそれに対して無意識にバネのような反発力をもって押し戻そうとしてくる。私は、子供達との出会いの中で、私自身の姿に気づかされ、固い枠を捨てねばならないとも思う。それは、私との出会いでもある◆念仏は行者のために、非行・非善なり(歎異抄)

◆今日も元気な子供達の声が聞こえ始めた。(藤井章兼)

組基推委の充実

本年度運動最重点項目

教区基幹運動推進委員会
総会が五月二十二日別院で
開催され、本年度教区運動
計画等が承認され、午後か
ら教学・伝道、同朋運動、
社会教化、連研推進、組織
教化の五つの推進委員会が
開催された。

まず、土基教務所長より
「現在教区基幹運動は基本
計画大綱第二次第三期計画
の最終年度と同時に第二次
の運動総括と第三次基本計
画策定の重要な年度を迎え
た。本日の委員会は今後の
活動に向けて、教区基推委
の構成及び今後の運動方針
の推進の方向性についてご
協議を賜り、本年度教区活
動の第一歩を踏み出したい」と
あいさつした。

委員構成については、任
期満了ではあるが、組長、
副組長、相談員等は平成九
年度までの任期でもあり、
大幅な変更はなく、副会長
選出も、組長会より山崎一
朗師（出石組正福寺）と基
推委より久堀弘義師（神戸
湊組行願寺）の再任となっ
た。

また、中央基推委委員に
は三期六年務めて頂いた山
崎師に変わり久堀師が推薦
され、各委員の推進委員会
配属についても承認された。
続いて五年ぶりに改定さ
れた基幹運動計画書につい
て第三連区担当中央相談員
の葉柴英真師より説明がな
され、また教区運動方針案
並びに重点項目案を久堀副
会長が説明し承認された。

久堀副会長は「今年度は基
本計画大綱第二次第三期の
最終年度で、その目標には①
教学の振興②人材の育成③
教化態勢の確立④社会教化
の活動⑤施設の設置が掲げ
られており、第二回御同朋
総結集大会を実施すること
になっている。まず今、なさな
ければならないのは組の基推
委の充実である。組は行政
区画だけでなく、教化組織
として組が互いに協力し組
の基推委を活性化すること
によって、一カ寺一カ寺の
教化をサポートしていくこ
とができる。特に今年度は重
点項目の第一に掲げている」と
述べた。

重点項目は①組基幹運動
推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・

推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・

推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・

推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・

推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・

推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・

推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・

推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・
推進委員会の充実と宗門・

本山へ支援お礼参拝

HO日誌

◆5月1日 愛生園真宗同
朋会から別院へ団体参拝◆
2日 仏婦連盟理事委員会・
監査会を別院で◆仏社連盟
会計監査会を別院で◆加古
川組金正寺前坊守寺島ふさ
あさんの葬儀に土基教務所
長が参列、達書伝達◆3日
神戸東組西方寺住職藤山和
基師の葬儀に土基教務所長
が参列、達書伝達◆第一土
曜仏教講座を別院で。講師
は副高朗師（阪神・淡路大
震災災害対策現地本部情報
センターコーディネーター）
テーマは「慈悲に聖道・浄
土のかわりめあり」◆7日
別院仏婦学習会◆別院仏婦
定例法座。講師は近藤龍樹
師（加古川組普光寺）◆阪
神・淡路大震災復興資金貸
付査定委員会が本山で。土
基教務所長が出席◆8日
第十二回賦課制度等専門委
員会が本山で。土基教務所
長が出席◆法要広報部会を
別院で。法要広報ポスター、
パンフについて検討◆青年
僧侶の会役員会を別院で◆
10日 布教団副団長会◆布

教団役員会を別院で◆保育
連盟総会を別院で◆部落解
放研究第十八回兵庫集會
第一回実行委員会が兵庫人
権会館で◆11日 12日 仏
青連盟中央委員会が本山で
◆12日 仏社連盟第二十二
回総会・東播大会を兵庫大
学で（二面に別記）◆滋賀
教区蒲生下組願證寺から別
院に団体参拝◆大震災当時
避難所になっていた神戸湊
組尊光寺の前川隆司住職を
はじめ地元住民四十七人が
本山にバス一台で団体参拝。
これは、震災直後から救援
物資や炊きだしなど、本山

教区、龍谷大学など全国の
宗門関係から数多くの支援
が寄せられ、避難者から
「落ち着いたらご本山にお
礼に」の合言葉で実施され
た。両堂にお礼参拝のあと、
国宝の飛雲閣や書院を拝観
書院の鴻の間では森俊道社
会部長があいさつ◆13日
別院降誕会の餅つきを仏婦
会員と職員で◆14日 神戸
別院永代経開闢法要◆仏婦
委員総会、幹部研修会を別
院で。八十七人が参加。講
師は岩田アサオ師（仏婦総
連盟講師）テーマは「私の
イノベーション」講演の間
には讃歌指導として釋氏清
子さん（阪神西組源光寺）
と赤松君香さん（網干組政
源寺）の指導◆15日 別
院降誕会。前庭の親鸞聖人
銅像前にて讃仏偈のおと
め、参拝者焼香。引き続き
て本堂にて奉讃大師作法の
おとめ。講師は応供乗生
師（城崎組清蓮寺）◆大阪
教区天野南組念照寺仏婦よ
り別院に団体参拝◆降誕会
園児の集いが本山で◆16日
別院常例法座。講師は前日
に引き続き応供師◆阪神北
組寺族婦人会から別院に団

体参拝◆17日 愛生園・光
明園降誕会に土基教務所長
と安井賛事が出席。四十年
もの永きにわたって訪園さ
れた井上法順師（岡山南組
光明寺前住職・江並教室非
常勤参勤）に感謝状と記念
品が授与◆被災寺院巡回に
北村賛事と副コーディネー
ター◆19日 阪神東組福圓
寺の本堂落慶慶讃法要・連
如上人五百回忌法要に土
基教務所長が本山からのお
祝いの言葉を伝達◆神明組
万宣寺住職黒田晃順師の葬
儀に赤松賛事が参列、達書
伝達◆20日 滋賀教区蒲生
上組門徒総代会から別院に

団体参拝◆スカウトクラブ
役員会を別院で◆22日 教
区基推委総会を別院で（二
面に別記）◆少年連盟役員
会を別院で◆24日 同兵庫
連第十五回総会・記念講演
を別院で。講師は日本基督
教団常議員の小田原紀雄氏
テーマは「平成」天皇制
下の選別と差別」終了後、
キリスト教団が同兵庫連の
事務局となるため事務引き
継ぎ◆完成記念法要準備委
員会◆委員長・副委員長会
法式部会（部長・副部长）
を別院で◆25日 保育連盟
近畿ブロック新任研修、補
任式が本山で。教区より二

十八人が参加◆27日 県教
誨師大会が高砂の鹿島殿で
◆27日 28日 組長・副組
長・組相談員合同一泊研修
会を赤穂御崎の銀波荘で
（二面に別記）◆28日 完成
記念法要について本山式務
部に土基教務所長、広瀬照
晴師、中村信之師と職員が
上山◆29日 寺婦連盟新旧
委員総会を別院で。平成七
年度事業報・決算報告、役
員改選、平成八年度事業計
画・予算案、他。委員長は
辻岡武子さんが再任。その
他では教区内の寺族婦人
で協賛頂いたご本尊・仏具
懇志で調製した打敷を披露
◆30日 近同推第三十六回
総会・会員研修会が本山で。
土基教務所長をはじめ教区
より十五人が出席◆青年僧
侶の会役員会を別院で◆30
日 31日 第七回まことの
保育セミナーが龍谷大学で
◆31日 大阪教区河南北組
寺族婦人会から別院に団体
参拝◆大阪教区島下組から
別院に団体参拝◆仏青連盟
委員会を姫路中組真行寺で
◆31日 6月1日 門徒推
進員代表者協議会が本山で。
桑田会長と担当者が出席。

御影堂へ参拝する元避難者の方々



御影堂へ参拝する元避難者の方々

御影堂へ参拝する元避難者の方々

御影堂へ参拝する元避難者の方々

御影堂へ参拝する元避難者の方々

御影堂へ参拝する元避難者の方々

「現代社会と新宗教」 生駒孝彰師 仏壮大会で講演

京都文教大学教授

生駒孝彰師

仏壮大会で講演

総会では、平成七年度事
業報告・決算報告、監査報
告、平成八年度事業計画案・
予算案が承認された。
午後からは京都文教大学
教授の生駒孝彰師より「現
代社会と新宗教」をテーマ
に具体的にいろいろ新宗
教をあげて記念講演があっ
り、参加者は興味深く聞き
入っていた。

生駒師は①第三次新宗教
の時代②第三次新宗教はな
ぜか③第三次新宗教の特徴
の三項目をあげ、第一次は
幕末から明治、第二次は第
二次世界大戦以降として、
歴史が大きくかわると人々
が悩み、現世利益の宗教が
興ってきたが、第三次であ
る一九七〇年代以降は生活
にも余裕がでてきたところ
の「心」の時代に興ったと



兵庫大学講堂での仏壮大会

相次ぎ他教区から団参